

講座の内容 (予定)

昨年度の様子



■ インタープリテーションの基本

体験



まずは体験!

基礎講義



インタープリテーションって
どんなこと?

■ インタープリテーションの実践

実践



企画

企画したプログラムをお互いに指導し合う

視点が変わる?! インタープリテーションの企画

■ インタープリテーションとは…

自然・文化・歴史(遺産)を分かり易く人々に伝えること。自然についての知識そのものを伝えるだけではなく、その裏側にある「メッセージ」を伝える行為や技能のこと。

(引用:『インタープリテーション入門』小学館1994年/発行)

about

講師 & キープ協会



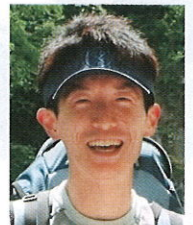
ますだ なおひろ
増田 直広 さん

(公財) キープ協会
環境教育事業部 主席研究員
日本インタープリテーション協会理事
日本環境教育学会理事
自然体験活動推進協議会理事



せきね けんご
関根 健吾 さん

(公財) キープ協会
環境教育事業部 副部長



環境教育を通して、「持続可能な社会=誰にとっても平和な社会」の実現に向けて、「普段着インタープリター」(=インタープリターのセンスを持って日々を生きる人)を増やすべく、清里をはじめ全国各地で活動中。キーワードは、環境教育、インタープリテーション、体験学習、ファシリテーション、エネルギー環境教育、幼児環境教育、地域づくり、暮らしなど。

大学で専攻した「社会学」、関心のあった「教育」、そして好きな「自然」が結びつき、今の仕事に。趣味の登山で通ったハケ岳が、今は環境教育に取り組む舞台になっています。現在は、企業との協働事業や指導者養成事業など、幅広く環境教育に携わっています。

キープ協会の環境教育



目の前にはハケ岳連峰がそびえ、はるか南に富士山を望む清里高原は、森、渓谷、そして草原と、豊かな自然が広がっています。私たちキープ協会が、環境教育事業を始めたのは、1983年からです。多様性に富んだ清里の自然を活かし、専門の知識と経験を備えたレンジャーが、数多くの環境教育プログラムを開発・実施してきました。フィールドに隣接した宿泊・研修施設など、プログラムを効果的に行うために必要な施設も充実しています。また、子どもたちの身体作りと健康に欠かせない食についても、地元の新鮮な食材を生かした料理を提供しています。キープ協会の環境教育は、このように「自然」「レンジャー」「プログラム」「施設」「食」と、総合的に環境教育を行うための要素が揃っていることが特徴です。((公財)キープ協会HPより)

共催

札幌市定山深自然の村※、札幌市北方自然教育園※、札幌市青少年山の家※
札幌市環境プラザ※、滝野自然学園(※指定管理者:(公財)さっぽろ青少年女性活動協会)



協力

環境中間支援会議・北海道(環境省北海道環境パートナーシップオフィス、(公財)北海道環境財団、NPO法人北海道市民環境ネットワーク、札幌市環境プラザ)